

国語科 2 学年の学習

1 学習の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

2 学習内容

月	単元名	目 標	教 材 名
4	○広がる学びへ	さまざまな文章に触れ、言葉の豊かさに気づく。	アイスプラネット (小説) 他
5	○広がる学びへ ○多様な視点から	構成を捉え、説明の工夫を考える。	枕草子 (古文) 他 生物が記録する科学 (説明) 他
6	○多様な視点から ○言葉と向き合う	表現を味わい、言葉の世界を広げる。	メディアと上手に付き合うために (情報) 新しい短歌のために (短歌・解説) 他
7	○言葉と向き合う	〔硬筆〕楷書の横書きについて正しい書き方を学ぶ。 単語をどう分ける? (文法) 他	
9	○関わりの中で	さまざまな関係を捉え、考えを深める。	盆土産 (小説) 他
10	○関わりの中で ○いにしへの心を訪ねる	描写や例示などの効果に注意して、読みを深める。	モアイは語る (論説) 他 平家物語 (古文) 他
11	○いにしへの心を訪ねる ○論理を捉えて	根拠を明確にした説得力のある表現を学ぶ。	漢詩の風景 (漢詩・解説) 他 君は「最後の晩餐」を知っているか (評論) 他
12	○論理をとらえる	走る。走らない。走ろうよ。 (文法) 他 〔書き初め〕行書の漢字と仮名の調和を考えて書く。	
1	○表現を見つめて	多様な表現と自分の経験と重ね理解を深める。	走れメロス (小説) 他
2			一字違いで大違い (文法) 他
3			科学はあなたの中にある (論説) 他

3 評価の方法

次の5つの観点を3段階 (ABC) で評価し、その結果を総合的に判断して5段階 (54321) の評定を決定します。

国語科の5つの観点	根拠となる学習内容
ア国語に関心や意欲を持ち、進んで表現し、理解しようとする。	授業の取り組み・提出物の内容・定期テストの結果
イ考えを目的や場面に応じて適切に話したり、聞いたりする。	話し合いの取り組み・聞き取りテストの結果・スピーチ・定期テストの結果
ウ考えを相手や目的に応じて適切に文章に書く。	作文課題の内容・定期テストの結果
エ目的に応じて的確に読み取ったり、読書に親しんだりする。	読解課題の内容・定期テストの結果
オ伝統的な言語文化に親しみ、語彙力が豊かで、表現技能を身に付けている。	定期テストの結果・書写の授業の取り組み

※Aの数が4、5つ…5、2つ以上…4 Cの数が2つ以上…2 すべてC…1

※定期テストの結果 85~90%以上の点数…A 50%以上の点数…B 40%以下…C

4 授業の約束

- 1、授業自己評価カードの記入を忘れない。
- 2、プリントはノートに貼る。
- 3、言葉遣いや文字を丁寧に正しく遣う。(返事・語尾「です・ます」の徹底)
- 4、提出物の期限を守る。